

# 11/21 石川県立工業高等学校 講演会



# 業界の仕事、やりがい伝える

## 県立工業高で管工事業説明会

石川県管工事業協同組連



県立工業高で行われた管工事業説明会=金沢

石川県管工事業協同組長は21日、管工事業界合連合会(北川雅一朗会)の担い手の確保に向けた取り組みの一環として、金沢市本多町の県立工業高校を訪れ、業界の仕事内容や、やりがいなどを説明会を開催した。高校生に対する石川県の高校生が特に知

る不安や疑問点などの解消を図り、管工事業界への理解を深めてもらうもので、今年は県立羽咋工業高校を皮切りに今回が2校目。

この日は、同高校一年生約300人が説明会に参加。冒頭、居村吉記校長が講師紹介した後、

一きょうは管工事業界の貴重な機会であり、能登半島地震の復旧工事を中心にふるさと教育という

石川県管工事業協同組組合連合会(北川雅一朗会)の担い手の確保に向けた取り組みの一環として、金沢市本多町の県立工業高校を皮切りに今回が2校目。

この日は、同高校一年生約300人が説明会に参加。冒頭、居村吉記校長が講師紹介した後、

一きょうは管工事業界の貴重な機会であり、能登半島地震の復旧工事を中心にふるさと教育という

こと、能登半島地震で被害を受けた県立門前高校と奥能登土木総合事務所のトイレの給排水配管と総合事務所の空調設備の応急復旧活動について詳しく述べた。ライフラインを守るとして業界の重要な役割や使命を生徒たちに伝え、「皆さんの中から

業界の担い手の確保に期待を込めた。この後、同高出身で鉄道工事、県管工事業協同組合青年部会会長の木管工業社員の若林倫宏

さんが「配管工事は水を扱う大切な仕事なのでやりがいがある。就職の運びがいい」と呼び掛けた。

説明会には中川康昭理事長が「配管工事は水を扱う大切な仕事なのでやりがいがある。就職の運びがいい」と呼び掛けた。

発行所 (株) 北陸工業新聞社 (本社: 石川県金沢市) 2025年11月26日 001面